

3 男女の役割等に関する意識について

3-1 男女の役割意識

問5. 次に掲げる考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

【全体】

5つの項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定の考え方については、『性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい』が85.2%と最も多く、次いで『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』が84.0%となっており、『男は仕事、女は家庭』という考え方を肯定している方は34.6%と最も少なくなっています。

【性別】

『性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい』や『性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である』という考え方については、男性も女性も回答内容が概ね似通っていますが、『男は仕事、女は家庭』や『男は男らしく、女は女らしくあるべき』という考え方については、男女で回答内容に若干差が見られます。

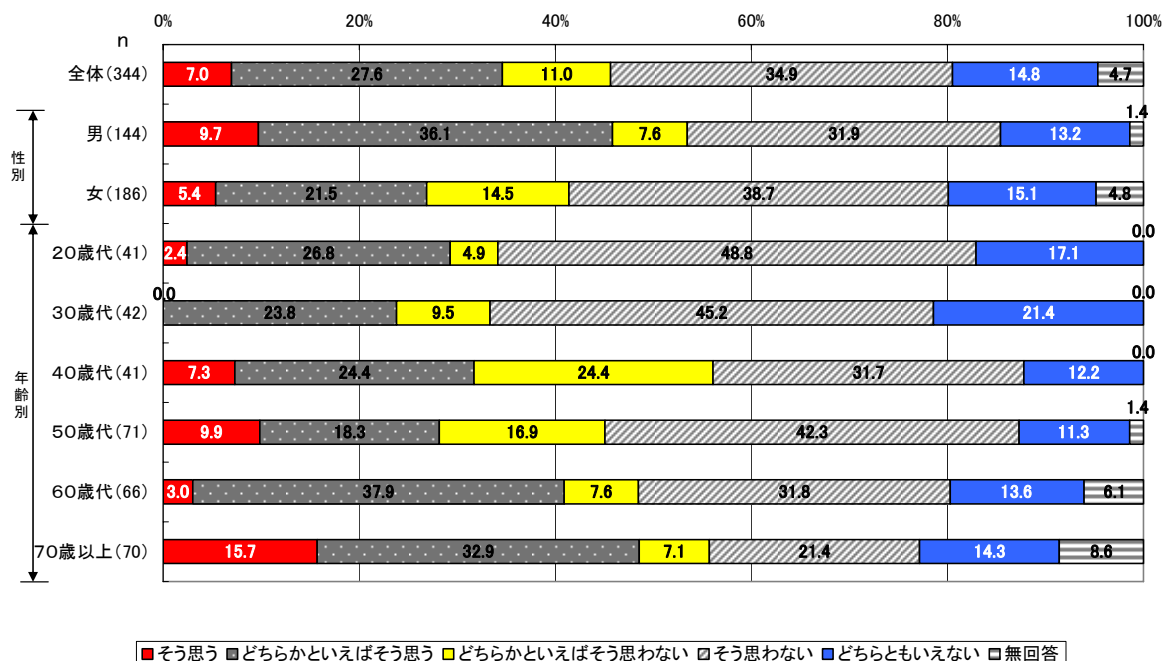
『男は仕事、女は家庭』について見ると、男性は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた否定的な考え方は39.5%と4割弱であるのに対し、女性は53.2%と5割以上となっています。したがって、男性より女性のほうがこの考え方について否定的であるということがうかがえます。

【年齢別】

『男は仕事、女は家庭』や『男は男らしく、女は女らしくあるべき』の項目については、20歳代及び30歳代の低い年齢層と、60歳代及び70歳以上の高い年齢層とで、回答内容に大きな差が見られます。

『男は仕事、女は家庭』を見ると、30歳代は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方は23.8%であるのに対し、70歳以上では48.6%と5割を占めています。したがって、この考え方について、若い世代では否定的ですが、年齢層が高い世代では肯定的であることがうかがえます。このような傾向は、『男は男らしく、女は女らしくあるべき』という考え方でも同様となっています。

1. 男は仕事、女は家庭



【全体】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると 34.6%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると 45.9%となっており、『男は仕事、女は家庭』という考え方には、肯定より否定的な方のほうが 11.3 ポイント多くなっています。

【性別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、男性は 45.8%、女性は 26.9% となっています。

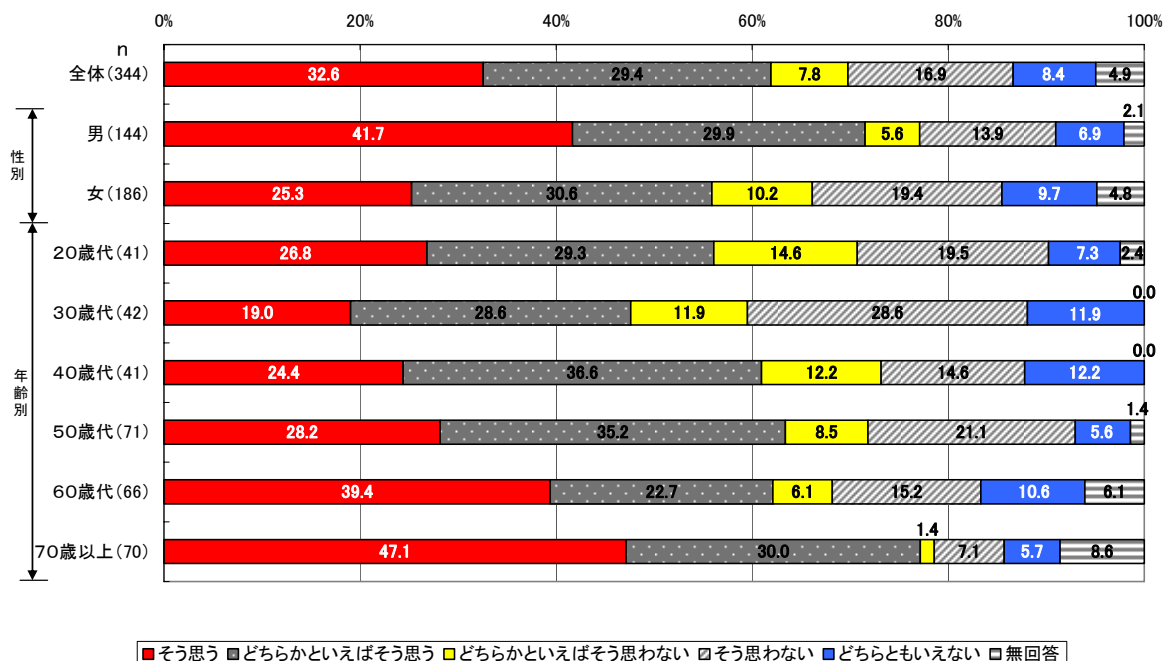
一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせると、男性は 39.5% と 4 割弱、女性は 53.2% と 5 割を超えており、『男は仕事、女は家庭』の考え方については、女性のほうが否定的である傾向にあります。

【年齢別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、70 歳以上が 48.6% と最も多く、次いで 60 歳代が 40.9% となっています。

なお、30 歳代では「そう思う」が 0.0%、「どちらかといえばそう思う」が 23.8% となっており、年齢層が高い世代ほど『男は仕事、女は家庭』という考え方に肯定的な方が多くなっている傾向にあります。

2. 男は男らしく、女は女らしくあるべき



【全体】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると 62.0%と 6 割強であるのに対し、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると 24.7%と 4 分の 1 程度となっており、『男は男らしく、女は女らしくあるべき』という考え方には、否定より肯定的な方のほうが 37.3 ポイント多くなっています。

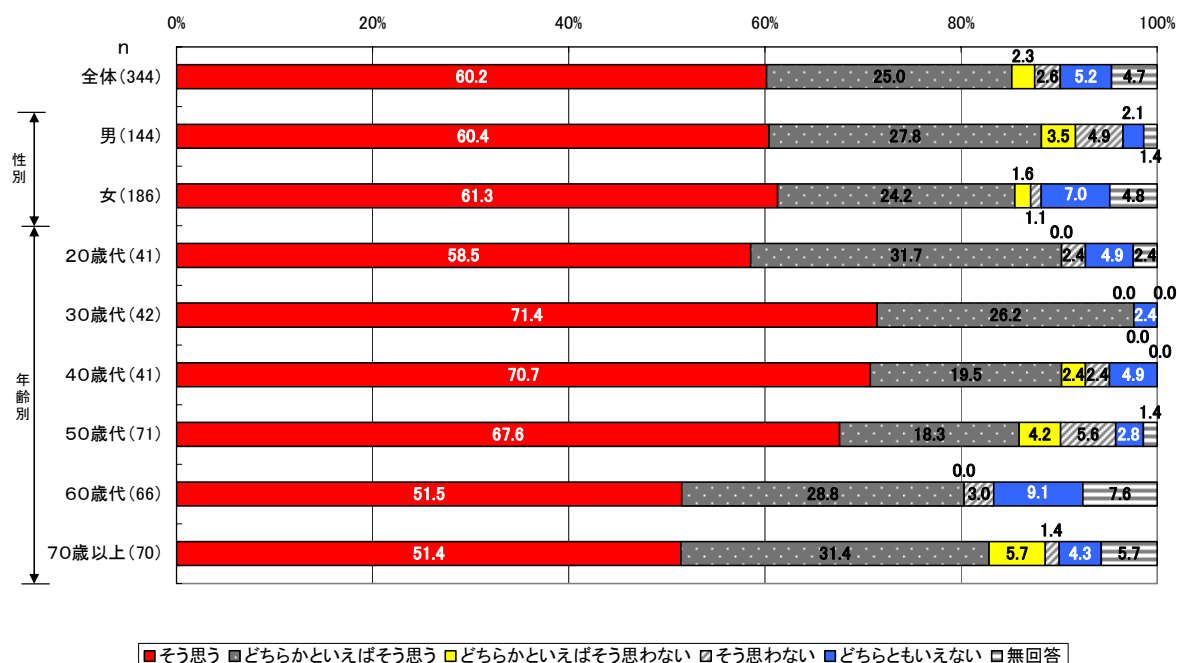
【性別】

男女とも、『男は男らしく、女は女らしくあるべき』の考え方について肯定的な方が多くなっていますが、男性は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると 71.6%と 7 割強、女性は 55.9%と 5 割強であり、男性のほうが肯定的な考え方がより多くなっています。

【年齢別】

すべての年齢層において、『男は男らしく、女は女らしくあるべき』の考え方に肯定的な方のほうが多くなっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、70 歳以上が 77.1%と 8 割近くを占め最も多く、次いで 50 歳代が 63.4%、60 歳代が 62.1%となっている一方、30 歳代が 47.6%と最も少なくなっており、年齢層が高い世代ほど『男は男らしく、女は女らしくあるべき』の考え方に肯定的な方が多い傾向にあります。

3. 性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい



【全体】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方が 85.2%であるのに対し、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた否定的な考え方は 4.9%と、『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方にはほとんどの方が肯定の立場にあります。

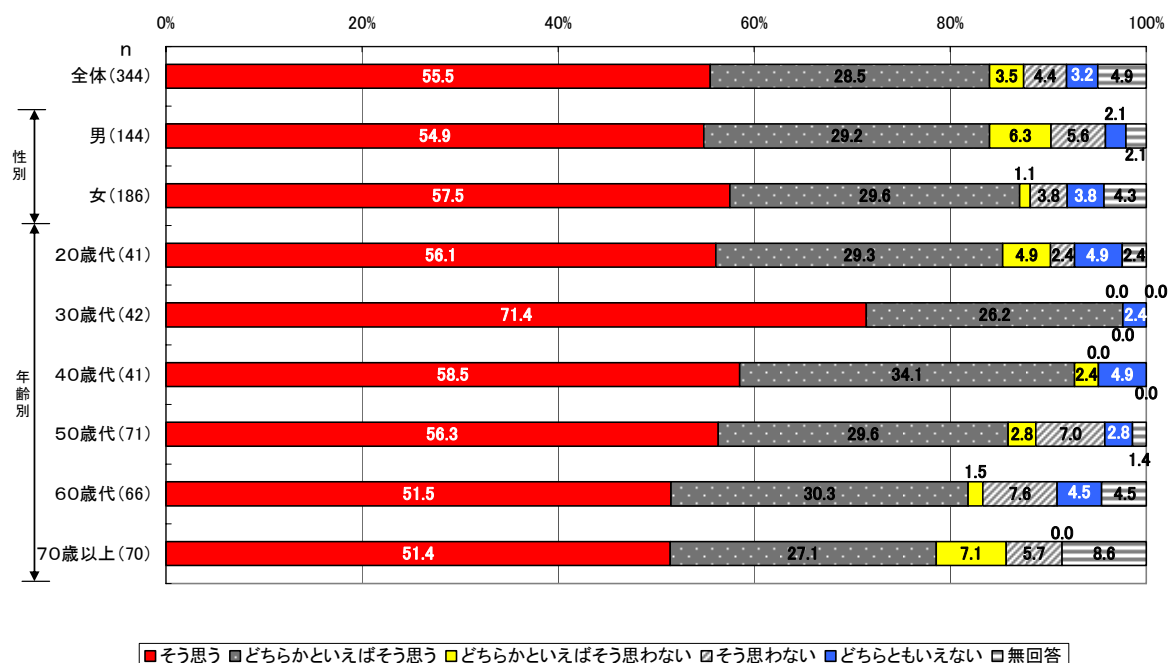
【性別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方について、男性は 88.2%、女性は 85.5%と、男性も女性も『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方にはほとんどの方が肯定の立場にあります。

【年齢別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、30歳代が 97.6%とほぼ 100%に近く最も多く、次いで 20歳代及び 40歳代が 90.2%と約 9割を占め、最も少ない 70歳以上でも 82.8%と 8割以上を占めています。したがって、すべての年齢層において『性別にかかわらず個性と能力を重視したほうがよい』という考え方にほとんどの方が肯定の立場にあります。

4. 性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である



【全体】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方が 84.0%であるのに対し、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた否定的な考え方は 7.9%と、『性別にかかわらず家事をこなしたり職業技術を身につけることが必要である』という考え方にはほとんどの方が肯定の立場にあります。

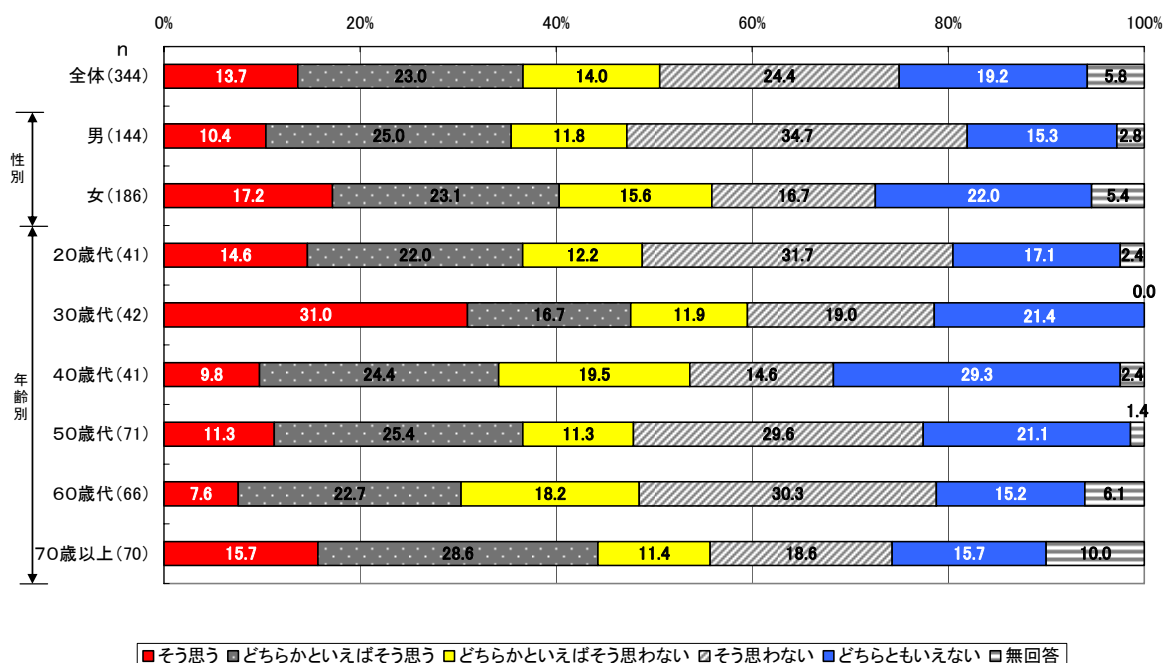
【性別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方について、男性は 84.1%、女性は 87.1%と、男性も女性も『性別にかかわらず家事をこなしたり職業技術を身につけることが必要である』という考え方にはほとんどの方が肯定の立場にあります。

【年齢別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると、30歳代が 97.6%とほぼ 100%に近く最も多く、次いで 40歳代が 92.6%と 9割強を占め、最も少ない 70歳以上でも 78.5%と 8割近くを占めています。したがって、すべての年齢層において、『性別にかかわらず家事をこなしたり職業技術を身につけることが必要である』という考え方にはほとんどの方が肯定の立場にあります。

5. あらゆる職業分野において、男女の比率を同程度にする方がよい



【全体】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると 36.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると 38.4%となっており、『あらゆる職業分野において男女の比率を同程度にする方がよい』という考え方には、肯定より否定的な方のほうがやや多くなっています。

【性別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方は、男性が 35.4%、女性が 40.3%となっています。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた否定的な考え方は、男性が 46.5%、女性が 32.3%となっています。

したがって、男性は否定的な方のほうが多くなっていますが、女性は肯定的な方のほうが多くなっています。

【年齢別】

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的な考え方と、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた否定的な考え方について、20歳代は 36.6%・43.9%とやや否定的、30歳代は 47.7%・30.9%と肯定的、40歳代は 34.2%・34.1%で中立的、50歳代は 36.7%・40.9%とやや否定的、60歳代は 30.3%・48.5%で否定的、70歳以上は 44.3%・30.0%と肯定的となっており、各年齢層で意見が分かれています。